

「地球温暖化対策計画（案）」に対する意見

1 件目

○該当箇所

表紙と1ページから10ページまでのはじめに

○意見の概要

本計画のタイトルである「地球温暖化対策計画」をもっと緊急性の高い、あるいはメッセージ性の強い表現にして、国民はじめ地方自治体、企業、団体等に向けて危機意識を高めるべきと思います。

○意見及び理由

本計画は、これまでの流れを踏襲するに留まり、緊急性が伝わりにくいと感じます。また、本計画で出てくる「気候危機」は96ページ16行目の1か所のみであり本計画の重要性が損なわれていると思います。そこで、「地球温暖化対策計画」に「気候危機」を表題に入れるか、あるいはサブタイトルを設けてはと思います。

これに基づき「はじめに」に、法第8条第2項第11号に規定されている、地球温暖化対策に関する重要事項をより強く打ち出すべく「気候危機：climate crisis」の記述を追記するのが望ましいと思います。

2 件目

○該当箇所

2ページ29行目、(IPCC 報告からの知見)

○意見の概要

「IPCC 報告からの知見」となっていますが、ここは前計画のまま「地球温暖化の科学的知見」がよいと思います。

○意見及び理由

地球温暖化の科学的知見を IPCC の報告書に限定するのは、報告書の重要性を踏まえると否定するところではないですが、人類の知見とより広くとらえる意味で「地球温暖化の科学的知見」の方がよいと思います。IPCC の報告書においても過去にミスも見つかри、極めてまれではあるものの、限定しない方がよいと思います。加えて「地球温暖化の科学的知見」の中で IPCC にクローズアップした見解を述べる方が適切と思います。

3件目

○該当箇所

10 ページ 14 行目、11 ページ 30 行目、12 ページ 18 行目と 30 行目、25 ページ 5 行目（表 2 エネルギー転換部門の取組）、31 ページ 8 行目と 9 行目と脚注 28、37 ページ 24 行目、43 ページ 22 行目、54 ページ 12 行目と 25 行目、56 ページ 14 行目と 15 行目と 22 行目、57 ページ 4 行目と 10 行目、58 ページ 20 行目、74 ページ 17 行目、81 ページ 23 行目、85 ページ 6 行目と 10 行目と 11 行目、87 ページ 14 行目、89 ページ 8 行目、90 ページ 9 行目と 18 行目、95 ページ 14 行目と 15 行目、105 ページ 32 行目、108 ページ 30 行目、別表 1-71 の 47 項、別表 1-72 の 48 項、別表 1-732 の 48 項に記載されている延べ 38 箇所の「最大限」の表現

○意見の概要

「最大限」という表現は、その範囲内における限度、あるいは「できる限り」と出来なくても仕方がないなど消極的な計画性を感じます。日本政府の強い政策を内外に示すためにはより具体的な表現にすべきと思います。

○意見及び理由

IPCC の第 6 次評価報告書第 1 作業部会報告書の気候の現状では「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない。」と初めて断定しました。また、将来ありうる気候では、「向こう数十年の間に二酸化炭素及びその他の温室効果ガスの排出が大幅に減少しない限り、21 世紀中に、地球温暖化は 1.5°C 及び 2°C を超える。」としています。気候危機は極めて深刻であって、行動を起こし、温室効果ガスの排出を徹底的に減らさなければならないことは明確であり、また、本計画案の計画期間が 2030 年度末となっていることを踏まえるとより実効性の高い内容にする必要があります。そこで、延べ 38 箇所ある「最大限」をより具体的で限度を感じさせない、かつ遵守性の高い表現に変更することを求めます。例を挙げれば「精到かつ徹底的に」「100% 達成するまで」「極大に」などです。

4件目

○該当箇所

14 ページ 3 行目（2. 新型コロナウイルス感染症からのグリーンリカバリー）

○意見の概要

新型コロナウイルス感染症の記述では「新型コロナウイルス感染拡大前」を「新型コロナウイルス感染症感染拡大前」の方がよいと思います。

○意見及び理由

誤植と思いますが略せず、正確に記述した方がよいと思います。

5 件目

○該当箇所

24 ページ 14 行目、25 ページ 14 行目と 20 行目、26 ページ 1 行目と 3 行目、27 ページ 1 行目、31 ページ 12 行目、49 ページ 6 行目、86 ページ 14 行目と 21 行目と 30 行目、88 ページ 6 行目と 8 行目と 9 行目と 22 行目、91 ページ 20 行目、95 ページ 12 行目と 15 行目と 22 行目と 24 行目と 25 行目、115 ページ 24 行目、別表 1-21 の 07 項に記載されている「努める」の表現

○意見の概要

「努める」という表現は、実行力において非常に弱い印象です。控えめ、後ろ向き、あるいは出来なくても仕方がないなどの印象を受けます。日本政府の強い政策を内外に示すためにもより具体的な表現にすべきです。

○意見及び理由

「努める」の記述は延べ 23 箇所あります。「はじめに」に記述しているように、気候変動問題は、私たち一人一人、この星に生きる全ての生き物にとって避けることができない、喫緊の課題です。計画にしたがって、日本として何としてもやる、やらなければならないことであるからにはやる気を大いに打ち出す必要があり、実行性が伴わなければなりません。計画を強く打ち出すためにも「実施する」「貫徹する」「鋭意に努める」などの表現を主体的に用いるべきと思います。